

できる・できる・できる

申 校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和6年1月24日
No. 56 (第184号)
長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

公立高等学校の新しい

入試制度を知ろう！

22日(月)に、2年生の「進路学習」の取り組みで、進路学習講話を実施しました。

長崎県立長崎南高等学校の小野下和宏校長先生を講師としてお招きし、「高校選択と高校入試」と題してお話をいただきました。



前半は、高校の「課程」と「学科」についての基本的な説明や、これからの「学び」等、必要なことについての説明がありました。

後半は、実際の高校生活について長崎南高校を例に分かりやすく説明していただきました。

話の途中には、本校卒業生(南高1年生)の石橋くんと橋本さんからのメッセージもあり、立派に成長した姿に嬉しさを感じる場面もありました。



講話を通して、小野下校長先生から「高校研究」と「主体的な日々の学び」の2つを大切にしてほしいと2年生に伝えていただきました。

具体的には「高校を自ら調べて、進学先を自分で決めること」で学習へのモチベーションが変わること。そして、「日々の学習で課題を見つけ、解決に向けて自分で考え、表現する習慣をつけること」が入試対策になるという内容でした。

後1年に迫った入試に向けて、講話の内容を今後の学習や生活に活かしてほしいと思います。

また、当日は2年生の保護者の方々にも来校いただき、直接、小野下校長先生に質問し、助言等をいただきました。

今後も私立や公立高校の入試を含みます新たな進路情報等が入り次第、みなさまにお知らせいたします。

(文責：中村教頭)



ラストのテスト

～学年末テストに向けて！～

2月7日(水)と8日(木)は、今年度最後の「学年末テスト」(全年)を予定しています。

3年生にとっては、公立高校受検前の最終段階

“力試し”でもあり、言うまでもなく中学校生活(義務教育)ラストのテストとなります。

また、1・2年生にとっては、前回の実力テストの反省を生かす絶好のチャンス。1日(木)から部活動も中止となるので、テストに向けての時間的な環境はさらに整います。これまでよりも1点でも高い点数にこだわり、最後の1秒まで諦めず、プロセスを大切にしたい取り組みを願っています。(〇〇)／

令和5年度のラストのテストが、一人一人の最高得点となるように、一心不乱に勉強あるのみ！

＜学年末テスト考え方のポイント＞

- ・重要語句の暗記に伴う頑張りとは、**得点 = 努力点**
- ・発展問題に伴う頑張りとは、**得点 = 読解力・判断力・思考力**

心の種

今回のテーマは「遊びの天才」です。

雪を大きく丸めて“雪だるま”。正門の上にはあっという間に雪だるまが並びます。

また、雪をこぶしサイズに丸めて数名の男子が始めたのは“雪合戦”。

今も昔も子どもは遊びの天才です。

そのような生徒たちの様子を見ると、凍るような寒い雪の日も、ほのぼのとした温もりを感じます。我々大人もきっと経験したであろう懐かしい遊びを、このデジタル社会だからこそ、現代の子供たちには必要なのかもしれません。

本日は積雪ということもあり、学校には生徒たちの登校とともに、様々な歓声が広がっていました。



いろいろな雪景色 (登校の様子)

